

平成 27 年度第 11 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「恋瀬川源流域の植物を学ぶ」を実施しました。

開催日時：平成 27 年 10 月 24 日（土） 9 時 30 分から 15 時 30 分まで

開催場所：石岡市大増 大覚寺周辺

参加者：24 名

今回は霞ヶ浦の代表的な流入河川である恋瀬川源流域である石岡市大増の大覚寺周辺の植物を観察しました。

観察地は大覚寺の北側にある尾根で、冬の季節風を避けられるため、比較的暖かい場所です。自然の条件ではスダジイやシラカシなどの常緑広葉樹が優占します。そのような景観も見られる一方、ヒノキの植林地が広がっている場所もあり、変化に富んでいて、いろいろな植物が見られました。

今回の講師は、植物の観察会ではおなじみの福田良市先生です。当日はさわやかな秋晴れで、絶好の観察会日和となりました。

福田先生とは大覚寺駐車場で合流し、まずは今日の観察のポイントと観察地の特徴を御説明頂き、早速観察会を開始しました。大覚寺の南には休耕地が広がっており、その遷移の模様を観察し、続いて大覚寺の庭園も見学しました。この庭は、どこから見ても素晴らしく、「裏見無しの庭」と呼ばれています。ギンモクセイの白い小さな花が印象に残りました。

そしていよいよ大覚寺の後ろの山林の観察路に入りました。スダジイやシラカシ、今回の観察会のテーマ植物であったイズセンリョウなどの照葉樹のほか、多くのシダ植物が見られ、そのなかには、希少種のナガホノナツノハナワラビも見ることができました。

秋の観察会らしく実を付けた植物も数多く見られました。

昼食休憩のあとは、舗装された道路沿いに、その沿道の植物を観察して行きました。ヒノキの植林地では日陰を好むアオキなどの植物が見られ、環境に合わせて植物相が変化していくことが分かりました。

また道路沿いには、葉が臭いことから名付けられたクサギが、きれいな赤紫の花を咲かせていたのが印象に残りました。

最終的に 150 種以上の植物を観察することができました。植物の種類の多さ、なかでもシダ植物の種類の多さに驚いたとの感想を多く頂きました。

講師の福田先生、植物記録と運営に御協力頂いたパートナーのみなさん、そして参加者のみなさん、大変ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の様子と観察した植物の一部を御紹介します。



大覚寺から恋瀬川源流を望む。（右）

ジュズダマ（左），オオジシバリ（上）





講師の福田先生からはじめに説明を受けます。



大覚寺庭園にて



ギンモクセイの花

スダジイ (左)
シラカシ (右)



イズセンリョウ



シダ植物 ウラジロ (左上)



ナガホノナツノハナワラビ (右上)



フユイイチゴ



ヤクシソウ



クサギ